



第2章 モーセの祈り

モーセ③ 祈り—そして行動 神に継続してより頼む



Check!

- 『聖書の祈りが私の祈りになる』（旧約編） 97～104ページ
- 主な引用箇所 出エジプト記14章13～15節、申命記8章15～16節 コリント第二4章18節、出エジプト記20章21節



質問

- 1 危機が迫って来た時、モーセは主に叫びました。その時、主はモーセにどんな命令を与えられましたか？（97～99ページ参照）私たちは神を信じているなら、どのような誘惑に注意して進んでいくべきですか？（98～99ページ参照）
- 2 一般的に神は私たちを通して働かれます。意外な形で自分が神に用いられた体験があれば分かち合いましょう。
- 3 いくつもの新しい問題に直面した時、モーセはどうしましたか？（100ページ参照）人々から責められた時、リーダーとしてモーセはどのように応答しましたか？（101～102ページ）批判されたり責められたりした時でも過ちを犯さないために、どのように祈ったらよいと思いますか？
- 4 生まれつきの人間として誰もが陥りやすいことはどんなことですか？（102ページ参照）目に見えるものや手で掴めるものにとらわれず、目に見えない神と正しい関係を持つにはどうしたらよいと思いますか？（102～103ページ参照）
- 5 祈りの中でも神が遠く、自分が暗闇の中にいるように感じることもあるでしょう。しかし、それは不信仰だからではなく、実は太陽に近づくほどまぶしくて目をつぶるように神に近づけられている体験かもしれません。暗闇をつきぬけたという体験があれば分かち合ってください。



天の父なる神さま。あなたは私と一緒に働きたいと望んでおられることを感謝します。感覚に頼ることなく、主との近さに生き、自分のなすことを担うことができますように。